

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	副主幹	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 29 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 25 年 8 月 29 日（木曜日）	開会 9 時 58 分	閉会 11 時 46 分
開 催 場 所	第一委員会室		
出 席 委 員	山口、山本、坂井、小野、三上、荒木	事務局	菊井事務局長
	議長、委員外～清水、渡邊龍之、木下、井上、窪之内		和田副主幹
欠 席 委 員			村井主任主事
説 明 員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	○休憩中、8 月 1 日付け人事異動に伴う主査職以上の職員紹介を行った。		
	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 専決処分について（道路）		
	(2) 専決処分について（下水道）		
	(3) 税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例について		
	(4) 平成 25 年度一般会計補正予算について		
	(5) 平成 25 年度下水道事業会計補正予算について		
	(6) 専決処分について（訴えの提起）		
	(7) 平成 25 年度公営住宅事業特別会計補正予算について		
	(8) 道営住宅における政策空家の指定について		
	(9) パークゴルフ場の整備について		
	(10) 建設部工事発注状況について		
	(11) 平成 25 年度一般会計補正予算について		
	・地域づくり総合交付金（農業振興施設等整備事業）		
	・経営体育成支援事業		
	(12) 株式会社滝川グリーンズに関する報告について		
	・定時株主総会の開催結果について		
	(13) 北海道立畜産試験場跡地利用の進捗状況について		
	(14) 不動産の減額貸付けについて		
	(15) 中心市街地活性化基本計画最終フォローアップについて		
	(16) スカイスポーツイベント「2013 北海道スカイスポーツフェアイン滝川」開催報告について		
	(17) 平成 25 年度一般会計補正予算について		

平成25年8月27日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長
滝川市教育委員会委員長

前 田 康 吉
若 松 重 義

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成25年8月7日付け滝議第80号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長	千 田 史 朗
経済部商業観光課長	浦 川 学 央
経済部商業観光課主幹	日 口 裕 二
経済部商業観光課副主幹	柳 圭 史
経済部商業観光課主査	青 木 康 男
経済部商業観光課駅周辺整備室長	加 地 幸 治
経済部商業観光課駅周辺整備室主査	後 呂 典 輝
経済部産業振興課副主幹	諏 佐 孝
経済部産業振興課主事	三戸部 達
農政部長	若 山 重 樹
農政部次長	中 島 隆 宏
農政部参事	多 田 幸 秀
農政部農政課副主幹	菊 田 健 二
農政部農政課主査	壽 永 七月男
農政部農政課営農振興室長	新 井 敏 幸
農政部農政課営農振興室主査	本 所 和 久
建設部長	大 平 正 一
建設部技監	高 瀬 慎二郎
建設部土木課長	深 瀬 文 彦
建設部土木課副主幹	芦 澤 博
建設部土木課副主幹	山 崎 智 弘
建設部土木課副主幹	千 葉 一 稔
建設部土木課主査	田 邊 義 明
建設部土木課主査	平 川 泰 之
建設部土木課主査	近 藤 誕 樹
建設部土木課都市計画室長	千 葉 豊

建設部土木課都市計画室副主幹
建設部土木課都市計画室副主幹
~~建設部土木課都市計画室主査~~
建設部土木課都市計画室主任技師
建設部建築住宅課副主幹
建設部建築住宅課主査
建設部建築住宅課主任主事

湯 浅 芳 和
宮 西 敏 子
~~岡 崎 卓 哉~~
東 忠 司
林 仁 彦
薦 田 啓 之
佐 藤 彰 真

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部参事
教育部社会教育課長

庄 野 雅 洋
竹 谷 和 徳

(総務部総務課総務グループ)

第29回 経済建設常任委員会

H25. 8. 29(木)10:00～
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

○ 休憩～8月1日付け人事異動に伴う職員紹介

1. 所管からの報告事項について

《建設部》

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| (1) 専決処分について（道路） | (資料) 土 木 課 |
| (2) 専決処分について（下水道） | (資料) 土 木 課 |
| (3) 税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例について | (資料) 都市計画室・農政課 |
| (4) 平成25年度一般会計補正予算について | (資料) 都市計画室 |
| (5) 平成25年度下水道事業会計補正予算について | (資料) 都市計画室 |
| (6) 専決処分について（訴えの提起） | (資料) 建築住宅課 |
| (7) 平成25年度公営住宅事業特別会計補正予算について | (資料) 建築住宅課 |
| (8) 道営住宅における政策空家の指定について | (口頭) 建築住宅課 |
| (9) パークゴルフ場の整備について | (資料) 教育部・土木課 |
| (10) 建設部工事発注状況について | (資料) 土 木 課 |

《農政部》

- | | |
|-----------------------------|------------|
| (11) 平成25年度一般会計補正予算について | |
| ・地域づくり総合交付金（農業振興施設等整備事業） | (資料) 農 政 課 |
| ・経営体育成支援事業 | (資料) 営農振興室 |
| (12) 株式会社滝川グリーンズに関する報告について | (資料) 農 政 課 |
| ・定時株主総会の開催結果について | |
| (13) 北海道立畜産試験場跡地利用の進捗状況について | (資料) 農 政 課 |

《経済部》

- | | |
|--|------------|
| (14) 不動産の減額貸付けについて | (口頭) 産業振興課 |
| (15) 中心市街地活性化基本計画最終フォローアップについて | (資料) 商業観光課 |
| (16) スカイスポーツイベント「2013 北海道スカイスポーツ
フェアイン滝川」開催報告について | (資料) 商業観光課 |
| (17) 平成25年度一般会計補正予算について | (資料) 商業観光課 |

2. 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3. その他について

4. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第29回 経済建設常任委員会

H25.8.29 (木)10:00～

第 一 委 員 会 室

開 会 9:58

委員長 ただいまより第29回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 まず、委員動静ですが、委員は全員出席です。議長出席。委員外議員として清水議員、渡邊龍之議員、木下議員、井上議員、窪之内議員の出席を許可しております。傍聴として、プレス空知を許可しております。

それでは、報告事項に入る前にここで休憩をとり、8月1日付人事異動に伴う職員紹介をいたします。

休憩します。

休 憩 9:59

再 開 10:00

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

1. 所管からの報告事項について

委員長 所管からの報告事項について、(1)、専決処分について説明を求めます。

(1) 専決処分について（道路）

芦澤副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

あらかじめお知らせしますが、(1)から(7)までは議案関連となっておりますので、ご留意いただきたいと思います。

それでは、質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 報告済みといたします。

(2)、専決処分について説明を求めます。

(2) 専決処分について（下水道）

山崎副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。

(3)、税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例について説明を求めます。

(3) 税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例について

千葉室長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 それでは、質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 報告済みといたします。

(4)、平成25年度一般会計補正予算について説明を求めます。

(4) 平成25年度一般会計補正予算について

湯浅副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(5)、平成25年度下水道事業会計補正予算について説明を求めます。

(5) 平成25年度下水道事業会計補正予算について

宮西副主幹

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(6)、専決処分について(訴えの提起)の説明を求めます。

(6) 専決処分について(訴えの提起)

林副主幹

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂井

林副主幹

この督促異議は、どんな異議だったのかということを教えていただきたい。

ご本人から裁判所経由で来た督促異議申立書によりますと、分割払いを希望します、毎月3万円ぐらいずつということで異議申し立てされております。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(7)、平成25年度公営住宅事業特別会計補正予算について説明を求めます。

(7) 平成25年度公営住宅事業特別会計補正予算について

林副主幹

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

報告済みといたします。

(8)、道営住宅における政策空き家の指定について、口頭で説明を求めます。

(8) 道営住宅における政策空き家の指定について

林副主幹

道営住宅における政策空き家の指定について、口頭でご報告申し上げます。

現在当市では、道営住宅啓南団地6棟143戸、滝の川団地2棟32戸、見晴団地6棟108戸の計14棟283戸につきまして道からの指定管理を受け、管理をしているところでございます。先般平成25年8月21日付で道の整備活用計画、長寿命化計画でございますが、案に基づきまして老朽化し、一定の居住性能が確保されていない団地のうち建てかえまたは用途廃止等を計画しており、事業準備を進めるために新たに入居させることが不相当である団地について政策空き家指定を行う旨通知されました。当市におきましては、築30年以上経過しております啓南団地6棟143戸及び滝の川団地2棟32戸が建てかえを前提とした政策空き家の指定となりますことから、その準備といたしまして今後新規入居者の募集を停止するよう当市に通知があったところでございます。

なお、この件につきましては、今後におきましても道と当市で協議を鋭意進めていくことをご報告申し上げます。

以上でございます。

委員長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

三 上 道営住宅、啓南団地と滝の川団地ですが、道のほうでいつ建てかえ予定なのか。
すか。

林副主幹 今現在の情報では、道のほうに確認したところ、今ご報告申し上げた内容でしか情報がないものですから、今後協議を進めていく中で情報を収集していきたいと考えております。
以上です。

三 上 わからないということなのでしょうね。
それで、結局入れない方がいますね、政策空き家に指定するということで。その方々を例えば吸収するような策というのは考えておりますか。

高瀬技監 先般、25年8月21日ということで先週の水曜日、我々のほうにもこういう通知が来たところで、さてという部分が非常に今大きい。入りたい人はどうするかというのがありましたけれども、当然市営住宅はありますので、その市営住宅のあいた部分だとか、同じように抽せんで、あき待ちの中で待機してもらって順番で市全体でそれを受けていくしかないのかなというのが今の状況でございます。
以上です。

委員長 ほかにありますか。
清水委員外議員、内容は何でしょうか。

清水委員外議員 道のこれまでの長寿命化との整合性等についてです。

委員長 ただいま清水委員外議員より質疑の申し出がありましたが、これを許可することに賛成の方は挙手をお願いします。
(挙手多数)

委員長 それでは、2分間をお願いします。

清水委員外議員 道の長寿命化計画では、啓南団地及び滝の川については修繕による維持ということで、私も寝耳に水だったので、これまでの計画がこういう形で変更、いい方向に変更ですから、それはいいのですけれども、ちょっと驚いているのです。長寿命化計画というのは、こういう形でそんなに以前に決まったわけでもないのです、数年前に決められた長寿命化計画だと思うので、そのあたりのこれまでの計画との整合性、あるいはかつて駅前には道営を誘致したという経過もあったと思うのですが、その関係も伺います。

高瀬技監 まず、長寿命化という部分で市と別な話で、道としての長寿命化計画という部分でしょうか。
(何事か言う声あり)

高瀬技監 道に関しては、同じように長寿命化という部分では常に計画はあったと思うのです。具体的に今の時点で現在の長寿命化計画というのは私も把握していないのですけれども、この6月に道としての長寿命化に補足、補完するといえますか、そういう計画はパブコメがありまして、それで活用方針というのが策定されたというのが7月ということは聞いております。その中で今までは修繕等をしてながら長寿命化ということを図ってきたところだったのだと聞いております。そうはいいながらも、やはり市営住宅もそうなのですけれども、それを長寿命化とするのか建てかえとして新たなものを求めるのかという検討になった段階で、今回の啓南と滝の川に関しては建てかえを前提とするという方向である意

味方向転換になったのかなという部分で我々は認識しているところでございまして、今後においてスケジュールだとか、この辺については建てかえ計画の方針が決まったので、この方針の中では今度は計画を策定するというのもうたっておりますので、その辺を我々としては注目していきたいなと考えているところでございます。

以上です。

清水委員外議員

これらの住宅は、一の坂団地と同時期に建って、ほとんど構造は一緒なのです。これが道の基準だとすると、滝川市は風呂のない住宅もいまだにあるわけで、滝川市も長寿命化計画について大きな見直しを考えないと公営住宅としての整合性がとれないということも考えるのですが、そのあたりについていかがですか。

高瀬技監

確かにおっしゃるとおりだと思っております。それで、現時点ではストック計画、長寿命化計画をあわせまして見直しをしているところでございまして、今までの議会等でも答弁させていただいておりますけれども、1戸当たりの住戸の建築費をいかに抑えていくかという部分を今検討しながら、木造化というのもございますし、高層化よりも低層化の中で建てるほうが若干安く上がるかなという検討もございますので、その中で市としての現時点でのストック計画でいえば、江部乙の江南、最終的に終わるのは平成40年ということを皆さんに公表していたところでございますけれども、いかに全般的に前倒しできるかという部分を検証しながら見直しをしている最中でございます。

以上です。

委員長

ほかにありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(9)、パークゴルフ場の整備について説明を求めます。

(9) パークゴルフ場の整備について

近藤主査

(別紙資料に基づき説明する。)

庄野参事

関連しまして、プロジェクトチームを代表する者として追加のご説明を申し上げます。

現在測量の実施に伴ってコースのコンセプトと、それからコースの基本レイアウトというものが8月23日に遅くですが、示されております。これをもとに今パークゴルフプロジェクトのほうにおいて、駐車場の位置の問題、コーススタートの位置の問題、あるいはパークゴルフ場の設置基準等々を調整しながら確認作業をして協議をさせていただいているところです。また、土木課のほうではあわせて河川事務所のほうとの橋脚下の駐車場の設置状況の有無、あるいはどういう形態が可能なのかということでの調査を行っていただいているところです。またあわせて、そのレイアウト案に沿って運営体制がどうなるのか、あるいは利用料金、利用体系、それらの方針もあわせて現在検討を進めているところでございます。お示しできる段階になれば、改めて議会のほうにお示しし、また市民説明会を開催をする中で市民の皆さんからのご意見等もいただく、そんなことで予定をしているところでございます。

また、あわせてこの機会にご報告をさせていただきたいと思っておりますけれども、この業務発注とあわせまして、プロジェクト会議のほうでも先進のパークゴルフ場の視察を実施をさせていただきました。視察先は、岩見沢のローズパーク、

ここは54ホールの岩見沢の設置した施設で指定管理でございます。2カ所目は、恵庭市のルルマップというパークゴルフ場、ここも恵庭市が整備し、指定管理で管理をしているところでございます。それから、石狩市のパークゴルフジャパン茨戸コースというところ、ここは民間のコースでございます。それから、札幌市の福移の杜、ここはもと福移の清掃工場の横のごみ処理施設をパークゴルフ場に変えたところでございまして、市の求めに応じまして民間が整備したところでございますけれども、今回滝川市がこの設計をお願いをしましたスポーツビジネス研究所がこの実質的な設計をしたコースでございます。それから、もう一カ所は、江別市の角山パークランド、この5カ所の視察をしてまいりました。

個々のコースについてのいろいろなものは見てまいりましたが、その中で全体的にちょっと特徴的なことを申し上げたいと思っております。まず、芝生の管理の状況ということとをどのパークゴルフ場も非常に重要視をしているということでございます。最大のポイントは、芝生の維持管理だと、あるいは水のまき方、コースをいかに維持していくかということが最大のそれぞれ営業としての視点というようなお話をどこのパークゴルフ場もされております。それから、休憩施設を見てまいりました。どこの施設も立派な施設を持たれているというのが基本に、スタートハウスを持たれているというところが多いのですが、その中でパークゴルフジャパン茨戸コースというところがありますが、ばらと霊園の手前のコースでございます。そこは、スーパーハウス、建設現場でよくあるような、ああいうものを3連つないだものでして、受付と事務所と簡単な調理をできるというようなものでございます。それでは、休憩施設はどうなるかといいますと、テントのつなぎ合わせたもので十分休憩される方の場所を確保している、もちろん横幕をつけてということでございますけれども、そういう設備については簡易なもので十分対応可能ですよということでございます。それから、休憩施設的にいえば、先ほど申し上げました恵庭市のルルマップというところも大型テントを設けまして、2つの大きな団体にも対応できるようなテント対応というものでございました。それから、景観ということでございますけれども、どこも非常にゆったりとした形で日常とはちょっと違う空間ということで、狭いようなパークゴルフ場という場所では今回の場合はございませんでした。非常に景観ですとか自然環境、こういうものもまた大きな人気コースとしての魅力なのかなと感じたところでございます。

それと、三笠、これは見てきているわけではございませんけれども、皆さん利用された方もいらっしゃるし、近くを通られた方もいらっしゃると思うのですが、太古の湯という民間の施設と隣接しておりまして、そことも相互利用の提携を結んでサービスをしているというところでございます。ただ、非常に道路が近いということがあって道路の音、あるいは景観的に建物に囲まれているとか、そんなことでちょっと雰囲気としては開放感が薄いのかなというパークゴルフ場として見てまいりました。

それから、利用のサービスという点でも幾つか特徴的なこともございます。公共と民間の違いということもあります。あるいは、公園、ほかの施設との一体管理という管理の仕方の違いなどがありますので、それぞれ一概に何とも言えないという部分がございますけれども、例えば利用券の扱いでは一日券のほかには午前券、午後券というような券の出し方をしているというところ、そ

れから市と一緒にあって、介護保険の制度がございいますが、介護保険を市民の健康増進に使っていかうということで、パークゴルフ場だけではないのですけれども、さまざまな健康増進施設と共通の利用券を発行するというようなことを恵庭市は取り組んでおられました。また、パークゴルフ場でのポイントを集めるというような仕組み、パークゴルフ場で何千歩歩けば、何万歩歩けば何らかの利用券がまたもらえるというようなことでパークゴルフ場に来るような仕組みづくりというものをされているというところがございます。それと、福移の杜というところは、新しくことしできたばかりでございますけれども、8月9日をパークの日ということで札幌市民というよりも区、福移の杜周辺の区民は無料というようなサービスを行うというようなことも計画されているということでございました。食堂についてですけれども、角山パークランドにはジーンズカンを初めとするちょっとした食堂と、レストランというものが設けられておりますけれども、その他の施設では軽食というようなことでの対応をされているということがございます。利用の状況を聞きますと、福移の杜は立派な食堂というのですか、軽食が食べられるような場所がございますけれども、3分の1程度が利用するというようなお話をされておりました。また、コースのレイアウト、あるいはトイレということなのですが、多くの施設では9ホールで行って帰ってくるというようなコースづくりです。ですから、例えば大会をやると一度に4つのチームが出て、36であれば出ていける、72であれば8つのチームと一緒に出ていけるというようなレイアウトをしております。ただ、中には9ホール行って9ホール帰ってくるというようなレイアウトの、敷地の関係でそういうコースづくりをしているところもございますが、そうした場合には奥のほうにまた別途トイレの必要もあるかなということで、福移の杜あるいは角山パークランドには奥のほうにもトイレなどの設置がされているというようなことございました。

いずれにしても、そうした先進事例、参考になるものがたくさんございました。今回まずは第1弾のレイアウトが出てきております。それをきちっと精査しながら、示せる案に今整理をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

荒 木

スポーツビジネス研究所ってどういうところなのかということなのですが、わかる範囲で。例えばパークゴルフのそういう設計監修が主なのか、スポーツ総体なのかとか、大まかで結構です。

近藤主査

スポーツビジネス研究所に関しましては、メインがパークゴルフ場の設計、施工管理、あとは運営等のアドバイザー的なものが中心になる業務をしまして、それ以外のスポーツに関する設計もやっていますが、近年におきましてはパークゴルフ場がメインとなっている業者でございます。

委員長

ほかに質疑ありますか。

三 上

視察に行かれたのですね、5カ所。それぞれが何年にオープンして何年経過しているのかちょっとわからないですけれども、一番今滝川でつくることの問題というか、懸念されることは収支がどのようになっていくのかなということなのです。ですから、例えば各5カ所、年度別の利用者数とか推移、それから収支状況はどういうふうになっているのかというのは視察の段階では把握できた

のでしょうか。

庄野参事 全てではございませんけれども、開設期から現在までの利用の推移というものもいただきました。また、可能な場所におきましては利用料金の収入、それと管理経費についても今現在一部調査をさせていただきながら資料の取りまとめを行っているところです。特に利用者数ということであれば、開設期から3年程度はぐっと伸びていくというのが傾向としてどのパーク場もございます。そこから先について総体の、相関関係にもあると思うのですが、他のパークゴルフ場の利用状況と、変化があらわれてきますので、そこで例えば芝生の状況であるとか、サービスの状況であるとかということによってパークゴルフ愛好者というのはいろんなところにまた移っていくというような状況があるようです。私たちが調べたところでは、例えば岩見沢のローズパークがございすけれども、ぐっと伸びました。伸びたのですけれども、岩見沢市内にはまた一方北村で整備していました、当時、旧北村ですけれども、土里夢パークというのがございます。そこが先行して整備をされていましたが、芝生の状態が悪くなって利用者が減ってきたということがあります。ある年に芝生の整備、管理体制を変えました。芝生がよくなったということでローズパークが下がり、土里夢パークが上がってきたと、利用状況が上がってきたという状況も岩見沢市内では見られるというようなこともあります。そんなことで決して下がっていただくだけではなくて、維持管理、芝生の管理というものをきちっとしていくことによって一定の利用者を確保していくという努力はどこもされているのかなという感じがしています。その資料も現在不足の部分についてさらにまた資料収集を進めておりますので、そうした整理をする際にはあわせて提供させていただきたいと思っております。

委 員 長 ほかにありますか。

清水委員外議員 清水委員外議員、どのような内容でしょうか。

委 員 長 今後のスケジュールについてです。

清水委員外議員より質疑の申し出がありましたが、これを許可することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

委 員 長 賛成多数ですので、質疑を許可いたします。

清水委員外議員 それでは、2分間をお願いします。

清水委員外議員 実施設計が半ばだということですが、実施設計をしながらソフト的なことについても合意をつくっていかねばならないということですので、9月議会、また12月議会、これにどれだけのまとまった情報を出せるかということが決定的なのですが、そのスケジュールについて伺います。

庄野参事 今先ほど言いましたようにプロジェクトチームで検討させていただきながら、たたき台というか、精査をさせていただいています。その後図面のほうはまた一方業者のほうから上がってまいりますので、料金体系の問題ですとか、管理体制の問題ですとか、そういうものについてを今政策協議の中で詰めていきたいと思っておりますので、作業的には9月議会の中で示せる部分は即出てこないのかなと思います。可能な限り早目には思っておりますけれども、9月いっぱいぐらいにはそうしたものがまとまるような状況で作業を進めたいと考えております。

委 員 長 ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。
(10)、建設部工事発注状況について説明を求めます。
(10) 建設部工事発注状況について
山崎副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)
委員長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。
ここで所管の入れかえ休憩をいたします。5分間休憩いたします。
休 憩 10:46
再 開 10:52

委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。
(11)、平成25年度一般会計補正予算について説明を求めます。
(11) 平成25年度一般会計補正予算について
・地域づくり総合交付金（農業振興施設等整備事業）
・経営体育成支援事業
菊田副主幹 (別紙資料に基づき説明する。)
新井室長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員長 説明が終わりました。
(11) は、議案関連となっておりますので、ご注意ください。
それでは、質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。
(12)、株式会社滝川グリーンズに関する報告について説明を求めます。
(12) 株式会社滝川グリーンズに関する報告について
・定時株主総会の開催結果について
多田参事 (別紙資料に基づき説明する。)
委員長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。
(13)、北海道立畜産試験場跡地利用の進捗状況について説明を求めます。
(13) 北海道立畜産試験場跡地利用の進捗状況について
若山部長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みといたします。
(14)、不動産の減額貸し付けについて説明を求めます。
(14) 不動産の減額貸し付けについて
諏佐副主幹 私のほうから不動産の減額貸し付けについてご説明させていただきます。
本件につきましては、前回の委員会において既に説明済みの案件でございますが、ことし7月から公募を開始し、事業者が株式会社JCUに決定しました中

島町せせらぎ地区におきますメガソーラー事業の件についてでございます。対象用地としましては、中島町のニュータウンせせらぎの未分譲地約2.6ヘクタールを株式会社JCU、東証一部上場企業でございますが、こちらの会社に貸し付けるといったものでございます。普通財産の貸付料の算定基準でいきますと、この対象用地は年間696万9,211円といった貸付料ということになりますが、事業者からのご提案に基づきまして貸付料233万9,533円、平米当たり直しますと90円と、平米当たり90円が年間の貸付料ということになります。差額分462万9,678円について減額したいとするものでございます。この減額の妥当性につきましては、前回の委員会でもご説明させていただいておりますが、滝川市が非常に雪深い地域であるということで設置コストも他の地域と比べても割高になるということ、それと買い取り価格が25年度に入りまして1割程度減額されているということ、それと既に工事に着手されております滝の川地区の伯東の貸付料がほぼ同額の平米当たり90円といったところを勘案し、さらに道内の他市の事例も参考にしながら妥当性について判断させていただいたところでございます。現状については、解散手続中の土地開発公社の所有地でございますので、現在のスケジュールでいきますと9月の中旬に所有権が市のほうに移転される予定となっております。その移転された後に第3回定例会のほうに追加議案として上程させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

委員長

説明が終わりました。

資料につきましては、前回の委員会で提出されております。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(15)、中心市街地活性化基本計画最終フォローアップについて説明を求めます。

(15) 中心市街地活性化基本計画最終フォローアップについて

後呂主査

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

坂井

中心市街地活性化基本計画のフォローアップということで、これを内閣府にも報告済みと今報告を受けたのですけれども、今後の課題、取り組みのところなのですが、せっかく5年間こうやって基本計画ということで滝川市として進めてまいったにもかかわらず、今後の取り組みの部分で課題となっている特に長期にわたり利用されていない不動産を利活用すると、これには至っていないという文章もあるにもかかわらず、今後の取り組みとしてはやはりこういった部分も文章に入れるべきと私は考えますがいかがでしょうか。

また、6月の議会においても滝川市のほうから今後滝川市独自の計画も考えていかなければならないといった私の一般質問に対する答弁もありましたけれども、そういった文章も織り込んでいくべきと考えますが、いかがでしょうか。

後呂主査

今回のこの報告におきましては、一部の抜粋でございまして、実際のところ内閣府におきましてはさらにこういった課題に対する取り組みについても同時に行う必要がある旨報告しております。まずは、私どもの考え方としては、これ

らも最終的には行うことを検討しておりますが、その前段においてやはり意識の共有化、認識のずれという部分がお互いに生じているという部分がございまずので、そこを解決する上にはまず協議できる場という部分を形成した上で、それぞれの内容をお互いに見詰め合って前に進めていくという部分が大事ではなかろうかという部分で、その第一歩としてまずヒアリングという部分を行った上で一步一步事業を進めていくような方向性で考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

委員長
荒 木

ほかに質疑ありますか。

ちょっと参考のためにお聞きするのですが、通行量調査というのはどういうふうにやられて、実際にやられているのを見ているので、大変な苦勞されているのはわかるのですが、例えば年に何回やっているとか、そういう大まかなもので結構なのですが、それを教えていただきたいのと、信憑性、要するに100パーセント出すというのは不可能なのではけれども、どういう評価というか、この数字に対して大まかにこれぐらいという根拠というか、そういうものがあれば教えてください。

後呂主査

通行量につきましては、年2回行っております、計画時点におきまして。その年2回というのは、春の5月ごろと秋の10月、11月ぐらいをめぐりに年2回行っております。それぞれ場所につきましては、5地点を標点として、駅前、それから北門付近、それから北洋銀行付近、それからJA、あと1点が高林の前ということでそれぞれ行っております。その通行量の調査の仕方としましては、面という形で捉えておりますので、同じ方がどうしても重複している可能性もあります。そういう意味からでは、若干こちらの数字が減る可能性もございまずですが、ただ私どもとしては実際にそれぞれの施設ができたことによってかなり通行量が伸びているというのは実感としてございましたので、そういう意味では信憑性はあろうかとは思いますが、ただどの程度というような部分にさらに深く追及された場合は答えに窮するかなという部分がございまず。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(16)、スカイスポーツイベント「2013北海道スカイスポーツフェアイン滝川」開催報告について説明を求めます。

(16) スカイスポーツイベント「2013北海道スカイスポーツフェアイン滝川」開催報告について

日口主幹
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

三 上

来場者数が相当ふえてきているようではけれども、市内と市外の来場者数というのは捉えていると思うのです。

また、もう一点は、市外の方については日曜日開催ということで前泊でどのぐらい市内、ホテルだとかに宿泊されているのか、そういったことも調べていると思います。調べていけば、お伺いします。

日口主幹

厳しい指摘をありがとうございます。まず、正直申し上げまして、現在のところ申しわけございませんが、市内、市外、それから宿泊等、具体的に数を掌握はできておりません。通常のイベントも含め、大体市外からいらっしゃる方々

は2割から3割程度というような、これは一応抜き取りといいますか、非常に小さなレベルでのアンケートをとって調べたのが、5年ぐらい前に調べた数字ですけれども、掌握をしている程度でございます。

それから、今回伸びた一因といたしまして、1つはいつも7月の最終日曜日に行っているのですけれども、実は隣の新十津川のほうでふるさとまつりがございまして、ふるさとまつりとバッティングをしたときには新十津川方面の方の来る数が少し減るような傾向が今まで出ております。

それから、今回の宿泊関係につきましては、ホテル2カ所プラスアルファで主に宿泊をしたのはこのスカイスポーツフェアに参加するスカイスポーツ団体の方で、両ホテルを合わせて基本的に80名の人間が宿泊をしております。それと、前日に前夜祭ということで松尾ジンギスカンで打ち上げをさせていただいたと、こちらのほうは200人ぐらい入っているような状況でございます。あとは、一般の宿泊者に関しましては、申しわけございませんが、データをとっておりませんので、数のほうはちょっと掌握できていないという状況でございます。

以上です。

委員長

ほかにございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

(17)、平成25年度一般会計補正予算について説明を求めます。

(17) 平成25年度一般会計補正予算について

浦川課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。議案関連となっておりますので、ご注意ください。

質疑ございますか。

三 上

議案関連なので、余り踏み込めないと思うのですが、答えられる範囲でお願いしたいのですけれども、テレビ放映で4カ国6回分が放映されると、これはすごくいいことだと思うのです。効果があると思うのです。ただ、6回ですから、常時見れるような形というのを考えていかないとだめなのです。常時見れるというのは、例えばネットでのバナー広告だとか、そういったことで結構引きつけられるのではないだろうか、PRできるのではないだろうかと思うのですけれども、そういうものは今回のこれには入っていないかどうかを確認したいと思います。

浦川課長

①でテレビ番組用の内容は取材して撮ってもらうのですが、それと同時にVTRをつくってもらって、そのVTRの権利は滝川市に、正確には滝川観光協会ですけれども、ソースをいただけますので、プロモーションとしてはそういうものをDVDにしてどこかで流してくるという手法もありますし、今委員がおっしゃられたように常時見れるような形も権限は滝川市にありますので、著作権はあることになりますので、そういった範囲の中では対応できるかなと思いますので、エージェントの情報交換等の中でもって検討していきたいと思います。

委員長

ほかに質疑ありますか。

坂 井

今回のこの事業というのは、大変私も興味がありますし、評価するところがありますが、何点か教えていただきたいのですが、具体的にこういった放送を見て、映像を見て観光客の方が日本に来るとなった場合に、放送を見て来たいと思った人がどのように滝川に足を運ぶのかというような方法を考えているのか

浦川課長

ということ、まずそれが個人なのかツアーなのか、そういったことも含めて、またそれと実際に来られた観光客が民間を含めたWi-Fiですとか、言葉、案内文の整備、この辺も6月の議会で答弁いただいている部分もあるのですが、連動して同時に行っていくものなのかどうか。また、今後こういったことを他の市町と連携して行っていく予定があるのか。それとあわせて国内向けに関しては今後どのように行っていく予定があるのか、以上をお伺いいたします。

放送を見てお客さんが来るということも当然想定していますし、実際菜の花まつりのときにもたまたま「香港ウォーカー」という雑誌にフォトウエディング、菜の花まつり、菜の花畑の中でウエディングドレスとタキシードを着た写真を撮ると、そういう文化といいますか、そういうものがあるらしいのですが、それを見られてと思われるのですが、香港からの団体バスが来られた経過があります。そういった方、実際に旅行客にどう対応するかにつきましては、海外エージェントとこの50万円の中で今後調整していきたいと思っています。団体になるか個人になるかというのは、旅行代理店側がどういう商品とするかということで、こちら側としてはどの時期に何が見れるのか、何が体験できるのかという情報を旅行会社等と、一般の旅行客に提供していくことになると考えています。

それから、6月の議会でもありましたけれども、実際に来た外国のお客さんへの対応ということにつきましては観光協会が主体となりまして観光戦略会議を立ち上げるという予定でありましたが、少しおくれていまして9月に立ち上げになりますけれども、その中で外国人の受け入れに対して宿泊施設あるいは飲食店で多言語化表示ですとか、Wi-Fiにすぐ取り組むとお聞きしておりますけれども、Wi-Fiへの対応ですとか、あるいは行く行くは言葉についても行っていかなければならないのではないかとということで国際課とも連携しながら対応、戦略会議の中で検討していきたいと考えています。

他市町村との連携につきましては、東南アジアに向けたDVDの作成ですとかテレビ番組の放送については今のところこの予算の中では考えておりませんが、今広域観光について業務委託を観光協会にかけていますので、そういった中で滝川だけではない、滝川には来るけれども、やっぱりほかの町と連携しないとメニューとしては成り立たないと思いますので、そういった連携が出てくると思いますし、今回つくった映像の動画というのは当然日本語版でもつくりますので、そういった形でPRをしていきたいと考えています。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みといたします。

ご苦労さまでした。

2. 第3回定例会以降の調査事項について

委員長

2、第3回定例会以降の調査事項についてですが、別紙のと通りの調査項目で調査することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

別紙調査項目のとおり決定します。

3. その他について

委員長

3、その他についてですが、事務局からございますか。

村井主任主事

それでは、お配りしております常任委員会の視察日程表について若干ご説明さ

せていただきます。

(別紙資料に基づき説明する。)

委 員 長

何かありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

ほかに委員から何かありますか。

(なしの声あり)

4. 次回委員会の日程について

委 員 長

4、次回委員会の日程についてですが、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委 員 長

以上をもちまして第29回経済建設常任委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 11 : 46